

秋の
読書
週間



香川県内公共図書館連携企画

#つながる図書館



10.23土 - 11.14日

香川県内の公共図書館が同じテーマでそれぞれ
おすすめの本を選び、各館で展示いたします。
秋の夜長に、本を読んでみませんか？



第1回テーマ

思い出の本 ~忘れられない一冊~



丸亀市立中央図書館

香川県内公共図書館連携企画「#つながる図書館 思い出の本～忘れられない一冊～」
各図書館の推薦図書リスト

| 図書館名 | 推薦図書 | | | |
|----------------------------------|---|--------|---|---------------|
| | タイトル | 著者 | タイトル | 著者 |
| 香川県立図書館 【10/19(火)～11/28(日)】 | クライマーズ・ハイ | 横山 秀夫 | 老人と海 | アーネスト・ヘミングウェイ |
| | 1985年のジャンボ機墜落事故を題材に、未曾有の航空機事故を追った新聞記者たちの怒涛の日々を描いた長編小説。組織の軋轢、家族の葛藤、記者それぞれの人生がないまぜになりながら物語は進みます。「レーダーからジャンボ機が消えた」とのニュース速報を見た夏の夜の記憶がよみがえります。 | | メキシコ湾で大型魚を一本釣りて狙う老漁夫は、死闘の末、巨大なカジキを仕留めます。捕らえたカジキを小舟に結び港に戻る途中、サメに狙われカジキは喰いちぎられていきます。原書を読む学習会で取り上げられた1冊。読み解くにつれ、逆境にも希望を失わない老漁夫の生きる姿勢に心を打たれました。 | |
| 高松市中央図書館 【10/27(水)～11/8(月)】 | コーヒーが冷めないうちに | 川口 俊和 | おばけのどろんどろんとぴかぴかおばけ | わかやま けん |
| | フニクリフニクラという喫茶店には、めんどくさいルールを守ればコーヒーが冷めるまでの間、タイムワープできる座席があり、そこを舞台に4つの物語が展開されます。過去や未来を変えることも出来ませんが、新たな一歩を踏み出すきっかけとなる4つの珠玉のエピソードを感動とともに味わって下さい。 | | 涼しい夏の夜、おばけのどろんどろんは小川のほとりを散歩していました。そこで、ぴかぴかとひかるおばけに出会います。どろんどろんと一緒に遊ぶおばけの正体とは？私が大人になった今、子どもに読んであげたいと思った絵本です。 | |
| 高松市夢みらい図書館 【10/27(水)～11/8(月)】 | つりばしわたれ | 長崎 源之助 | 深夜特急 | 沢木 耕太郎 |
| | 母の病気を理由に一人、東京から引っ越してきたトッコ。なかなか田舎の暮らしに馴染めない。山の子たちはつりばしをわたることができたら、仲間に入れてやろうが……。同じ年頃に引っ越しを経験した私にとって、その孤独感と新しい世界への不安と期待を見事に代弁した作品である。 | | 海外移住熱に侵された大学時代の親友から影響を受け、ダーティな旅に憧れた頃にであった1冊。デリーからロンドンまでバスを乗り継いで移動する。突然そう思い立ち、すべてを投げ出して旅に出た若者。バイブル的に読み漁り、いつかは追体験をと思っていたが、いまだ実現できずにいる。 | |
| 高松市牟礼図書館 【10/27(水)～11/8(月)】 | 窓ぎわのトットちゃん | 黒柳 徹子 | 泣いた赤鬼 | 浜田 廣介 |
| | 少し変わった子供として過ごした、小学生時代を描いた黒柳徹子さんの自伝物語です。1981年に発売されベストセラーになった作品で、黒柳徹子さんらしいユーモアあふれるエピソードに思わず笑ってしまいます。人間の多様性が問われる昨今では、また違ったメッセージを与えてくれる作品と思います。 | | 道徳の教科書にも採用された、浜田廣介の代表作『泣いた赤おに』を推薦します。人間と仲良くなりたいと願う赤鬼ですが、自ら悪役となることで、赤鬼の願いを叶えようとした友人青鬼は、結果として赤鬼のもとから去ることになります。「友達や友情とは何なのか」など考えるきっかけになるでしょう。 | |
| 高松市香川図書館 【10/27(水)～11/8(月)】 | 瀬戸内純情スクリーン—映画は夢のワンダーランド | 帰来 雅基 | 世界の民芸玩具 | 尾崎 織女 |
| | 小学生時代の映画体験に始まり、映画に目覚めた中学生の時から大学生時代までの出来事や映画のジャンルごとに自分の思いを綴り、これまで数千本以上の映画を鑑賞し、FM香川パーソナリティとして番組を持つ筆者が、映画との繋がりを熱く綴る一冊です。 | | 兵庫県姫路市にある井上重義が設立した日本玩具博物館がメキシコ・カナダ・ペルーなどの世界の味わい深い玩具や人形、また宗教的な装飾物などを選び、それらが誕生した背景や成り立ちについて紹介しています。 | |

| 図書館名 | 推薦図書 | | | |
|------------------------------------|---|------------------------|---|-------------------------|
| | タイトル | 著者 | タイトル | 著者 |
| 丸亀市立中央図書館 【10/23(土)～11/14(日)】 | ライ麦畑でつかまえて | J・D・サリンジャー 野崎 孝(訳) | そらまめくんのベッド | なかや みわ |
| | 日本語訳は1964年出版で、はや半世紀たちました。近年は、村上春樹の訳による「キャッチャー・イン・ザ・ライ」も有名ですが、私的には断然「ライ麦畑でつかまえて」です。周囲を拒絶し、社会との疎外感を深め、彷徨している主人公の成熟することへの漠然とした恐れは、今も多くの共感を得ると思います。青春小説のバイブルです。 | | この絵本は、小さいころに読んだ絵本の中で一番印象に残っています。そらまめくんの宝物を大事にしたい、ひとりじめしたい気持ちがわかるからです。でも、読み進めると、人は一人では生きていけない、助け合って生きている、そこから人の和ができることを学びました。ぜひ、一度手に取ってみてください。 | |
| 丸亀市立綾歌図書館 【10/23(土)～11/14(日)】 | とわの庭 | 小川 糸 | ワンダー | R. J. パラシオ(作) 中井 はるの(訳) |
| | 生まれて間もなく視力を失った少女とわ。母と二人、狭い家と庭が生活のすべてだった。帰ってこなくなった母をひたすら待ち続ける。テーマはネグレクトと視覚障害だが、描かれた世界はフワリとしたメルヘンな描写でちりばめられており、そのギャップが哀しさを誘いつつも生きる勇気を与えてくれる。 | | タイトルや表紙の絵がとても印象的です。本の厚みに少し躊躇してしまいましたが、読み始めて数ページで読み進める手が止まらなくなります。主人公のオーガストが成長していく姿、周りの人々のそれぞれの視点での彼との関わりが描かれています。きっと前向きな気持ちになれるはずですよ。 | |
| 丸亀市立飯山図書館 【10/23(土)～11/14(日)】 | あなたの人生、逆転させます | 小笠原 慧 | さくらこ式自分ことわざじてん | さくらこ |
| | 香川県生まれで、様々な資格・経歴をもつ異色の作家が紡いだハートフルストーリーはいかが。就活に失敗し、個人経営のクリニックにぎりぎり滑り込んだ心理療法士・美夢。個性的すぎる院長は名ドクターで、クリニックは心の病のデパート…。美夢の前でどんな人生の逆転が？ | | 9歳の女の子が感じたままをことわざに！自作オリジナルことわざに意味と例えをつけ、手描きのイラストも添えて可愛く仕上げました。日本語の専門家による解説も加わり、最強の事典が完成！9歳の素直な感性と視点の妙に思わず感嘆。著者のお母さんも「身につまされる」と絶賛していますよ。 | |
| 坂出市立大橋記念図書館 【10/27(水)～11/23(火)】 | おにたのぼうし | あまん きみこ(作) いわさき ちひろ(絵) | きまぐれロボット | 星 新一 |
| | 小学校の頃、母が近所の本屋さんにお薦めされて買ってきた絵本。鬼の「悪い」「怖い」という私のイメージが変わりました。“おにた”の優しさと切なさ、いわさきちひろさんの絵の1枚1枚の構図が素敵で、何度も読み返しました。私にとって、「見返りを求めない優しさ」の原点ともなる1冊です。 | | 中学生の時、兄の部屋にあった、星新一さんのショートショートシリーズ。どれも思いがけない結末…。こっそり読んでとりこになったのを覚えています。この「きまぐれロボット」も、ちょっと未来のSFの雰囲気だけど小咄のような「くすっ」と笑えるストーリーがたくさん集められています。 | |
| 善通寺市立図書館 | あらしのよるに | きむら ゆういち | The Sense of Wonder | レイチェル・カーソン |
| | 嵐の夜、真っ暗闇のなかでヤギとオオカミはお互いの正体を知らないまま意気投合しています。食べる側と食べられる側の二匹は友達になれるでしょうか？言わずと知れた名作シリーズ第一作です。善通寺市立図書館にとって、YouTubeで配信した読み聞かせやおはなし会で読むなど、縁のある物語です。 | | 「不思議さへの感性」。それは、自然の中で生まれ、子どもの時には誰もも持っていたもの。しかし、大人になるにつれ薄れていきます。今一度、子どもの時代を振り返り、子どもと同じ感動を分かちあってみませんか？子育てに奮闘する家庭におすすめる一冊です。 | |
| 観音寺市立中央図書館 【10/26(火)～11/14(日)】 | カフーを待ちわびて | 原田 マハ | ルパンと怪人 | モーリス・ルブラン |
| | 家で飼っている犬がカフーと同じラブラドルだったので、親近感がわいて手に取りました。ゆったりと時間が流れる、沖縄の離島が舞台で、おおらかで温かい人間関係に癒されます。やさしく包み込んでくれる物語は、心が疲れたときにお薦めです。読後は心地良い余韻が残り幸せな気持ちになれる一冊です。 | | 私の好きな本のジャンルは、だんぜんミステリーです。これまで日本、外国を問わず、いろいろなミステリーを読みましたが、ミステリーを好きになったきっかけは、小学校の図書館で読んだ怪盗ルパン全集です。怖いけどおもしろく、シリーズを読破しました。 | |

| 図書館名 | 推薦図書 | | | |
|------------------------------------|---|--|---|-----------------|
| | タイトル | 著者 | タイトル | 著者 |
| 観音寺市立大野原図書館 【10/26(火)～11/14(日)】 | 夏の庭－The friends－ | 湯本 香樹実 | 夜と霧－ドイツ強制収容所の体験記録 | ヴィクトール・E. フランクル |
| | 1993年の課題図書です。「死んだ人が見たい！」という好奇心にかられ、少年達が一人暮らしのおじいさんが死なないか毎日見張りを始めます。おじいさんとの交流を深めていくうちに、おじいさんの過去を知り学び成長していく作品です。思春期の子ども達に是非読んでもらいたい一冊です。 | | ユダヤ人の医師フランクルによる強制収容所での記録。絶望的な環境の中、人間性を失わなかった人々がいたことを記している。「世界ってどうしてこう綺麗なんだろう。」ある囚人が美しい夕陽を目にして呟いたこの言葉が、強く心に残った。 | |
| 観音寺市立豊浜図書館 【10/26(火)～11/14(日)】 | ぐりとぐら | なかがわりえこ(作) おおむら ゆりこ(え) | 美女入門 | 林 真理子 |
| | 子供の頃、よく「ぐりとぐら」の絵本を、母に読んでもらっていたのを覚えています。兄と一緒に楽しみにしながら読んでもらっていました。料理を作るところがすごく好きでおいしそうに見えたので、母にねだって作ってもらいました。ぐりとぐらは、初めて読んだ本でおいしそうなお思い出の一冊です。 | | 『アンアン』に掲載されていた時から大好きなエッセイ。イラストも楽しいし、登場するモデルや女優達の美女ぶりがとにかく華やかでかっこいい。それでいておもしろい。私もこんなふうだったら(笑)と思いながら当時読んでいました。コロナ禍だからこそ、愉快地読んで笑ってほしい、元気をもらえる1冊。 | |
| さぬき市志度図書館 【11/2(火)～11/30(火)】 | シートン動物記 | アーネスト・トンプソン・シートン | 麦の海に沈む果実 | 恩田 陸 |
| | 小学校1年生の時、図書室で初めて借りた本が「シートン動物記 オオカミ王ロボ」でした。シートン動物記は、面白いだけでなく動物を主人公として、その暮らしぶりがいきいきと書かれており、人と動物の関係と細かい描写にわくわくしながら10巻を読破してしまいました。 | | 舞台は湿原に囲まれた全寮制学園。失踪する生徒、いわくつきの本、そして学園の伝説。屈折した危うい少年少女たちの物語を、息苦しさや恐怖を感じながら、高校時代、初めて徹夜で読み進めました。怪しく美しい、これぞ恩田ワールドという一冊です。学園ミステリー、不穏な世界観が好きな方はぜひ。 | |
| 東かがわ市立図書館 【10/16(土)～11/14(日)】 | 片手袋研究入門－小さな落としものから読み解く都市と人 | 石井 公二 | 空色勾玉 | 荻原 規子 |
| | 手袋国内生産日本一の東かがわ市民としては衝撃のタイトル。膨大な時間と恐ろしいまでの情熱をかけ、ついには展覧会やイベントそして本にまでなったんだからスゴイ。何コレ？という反応にめげず、選書会議で熱く推した思い出の一冊。読んでみようと思われた方、路上の片手袋に心奪われないよう注意です！ | | 進路に迷っていた高2の夏、ふと図書館で立ち読みをしてそのまま読み終えるまで動けなくなった本でした。西洋にしかないと思っていたファンタジーが、古代日本を舞台に生き生きと描かれている驚きと喜び。その体験が文学部に進学するきっかけになり、今の人生につながっている、まさに運命の一冊でした。 | |
| みとよ未来図書館 【10/27(水)～11/7(日)】 | 酔って候 | 司馬 遼太郎 | 漂流郵便局－お母さんへー 届け先のわからない手紙、預かります。 | 久保田 沙耶 |
| | 『大政奉還の陰に容堂あり』。幕末動乱期の四賢候、その一人である土佐藩主：山内容堂。自ら「鯨海酔候」と称し、酒と美女を愛した45年間。当時の大名の中では珍しい才覚を持つが故、その生涯は波乱万丈に…。豪快かつ破天荒な男の物語としては実に面白く、同名曲をBGMに深読みしたい1冊です。 | | 瀬戸内に浮かぶ粟島、異空間の島に実在する『漂流郵便局』。瀬戸内国際芸術祭のアートであり、今も寄せられる想いを綴った手紙。子から母へ、母から子へ。飾りのない文字から溢れる深い愛情。でも、それは決して相手には届かない…。『蕾』をBGMに流しながら、時には目を潤ませてみませんか？ | |
| 土庄町立中央図書館 【10/27(水)～11/9(火)】 | ちびくろ・さんぼ | ヘレン・バンナーマン(文) フランク・ドビアス(絵) 光吉 夏弥(訳) | だっだあー | ナムーラ ミチヨ |
| | 幼い頃、繰り返し読んだ本。さんぼがとらと出会うたびハラハラドキドキ、その後の展開も痛快でこども心をとらえて離さなかった。それが絶版となり巷から消えてしまったのにはびっくり。さんぼはとても可愛くて人種差別など思いもよらなかった。後日再刊されてうれしかった一冊です。 | | だっだあー ほっほー むちゅっ むちよっ ふわーん わが子のブックスタートで頂きました。擬音語ばかりでどう読めばいいんだ？？と思いながらも、自分なりに読んでいたところ…。ある日、1人でこの本を持って「だーだー」と声を出すわが子の姿が！この本を見るたびに今でもその姿を思い出します。 | |

| 図書館名 | 推薦図書 | | | |
|------------------------------------|--|-----------|--|---------------------|
| | タイトル | 著者 | タイトル | 著者 |
| 小豆島町立図書館 【10/1(金)～11/28(日)】 | おばけのてんぷら | せな けいこ | 舞姫 | 森 鷗外 |
| | うさこちゃんを作っている天ぷらの匂いに誘われてやってきたおばけが天ぷらにされそうになるお話で、わあー食べられちゃうよーってドキドキしながら読んだのを感じています。おっちょこちょいなおばけがかわいくて好きでした。「めがねうさぎ」シリーズの中で一番好きで何度も読んだ絵本です。 | | 高校の授業で初めて読んだときに内容が衝撃でした。当時の私には主人公の行動が理解できず、ただ後味の悪い話でした。しかし大人になって物語の時代背景を知った上で読むと、主人公の行動は理解できなくもないと思えました。酷い男には変わらないですが(笑)。郷ひろみ主演で映画にもなった作品です。 | |
| 三木町文化交流プラザ 【10/29(金)～11/24(水)】 | 思い出ランプ | 向田 邦子 | とべ！ちいさいプロペラき | 小風 さち(作) 山本 忠敬(絵) |
| | 私が小説を読むきっかけとなった1冊。まだ学生だった頃、雑誌の特集で知った向田邦子。まず読んだのがこの本で、ありふれた家族の日常の生活が描かれ、引き込まれるように読み終えた記憶があります。当時の私には何とも言えない重圧感のようなものがありました。今でも読み返したくなる1冊です。 | | 初めておはなし会をすることになった時、読み聞かせボランティアをしていた友達のお母さんに薦めてもらった1冊です。初めて空に飛び立つ小さいプロペラ機のドキドキする気持ち、大きな空の気持ちよさが、絵と文章どちらからも伝わってきて、読んでいる方も元気がもらえます。大人にもおすすめ！ | |
| ライブラリーうたづ 【10/26(火)～11/14(日)】 | わすれられないおくりもの | スーザン・バーレイ | アルケミスト | パウロ・コエーリョ |
| | みんなから慕われていたアナグマが年をとって死んでしまいます。大きな悲しみに沈む森の仲間たち。悲しみが癒される日は来るのでしょうか。そしてアナグマが残してくれた贈り物とは？繊細で美しい絵と優しい文章で子供から大人までそれぞれの思いを乗せて読むことができる名作絵本です。 | | 羊飼いの少年がスペインのアンダルシアからエジプトのピラミッドへ宝物を求めて旅する物語です。様々な人との出会いや困難を乗り越えることで少年は成長していきます。随所にちりばめられた言葉が心に響き、人生に迷った時、前向きに一步を踏み出すことができるような一冊です。 | |
| 綾川町立図書館 【10/27(水)～11/14(日)】 | ジュニア空想科学読本 | 柳田 理科雄 | 空白の五マイルーチベット、世界最大のツアンポー峡谷に挑む | 角幡 唯介 |
| | 中学生の職場体験で「ビブリオバトル」を実施しています。数年前に紹介されたのが「空想科学読本」でした。バトルトークを聞いて大笑いし、本を手にとって「空を飛んできたウルトラマンがドーンと着地して、街に被害は出ませんか？」(8巻)の回答に笑いました。さて、被害は出るのでしょうか？ | | 2018年綾川町立図書館ビブリオバトルのチャンプ本です。バトルの素晴らしい紹介に惹かれて手に取りました。世界の探検家たちが目指したツアンポー峡谷の描写、著者の挑戦に協力した現地の人々の温かさ、1993年に起きた事故……。様々な人々の想いがガッチリと書き込まれています。 | |
| 多度津町立明徳会図書館 【10/26(火)～11/14(日)】 | じごくのそうべえ | たじま ゆきひこ | 海と毒菓 | 遠藤 周作 |
| | 保育所で借りてきたのがきっかけだったか、一番下の子がお気に入り、何度も読まれた絵本です。元になった落語の桂米朝さんにはいかになくても、あなたも落語家になった気分です。「とざい、とうざい。」と「かるわざしのそうべえ」になって地獄めぐりへ行ってみませんか？ | | 高校時代を思い出す一冊です。多分、人生で一番本を読んだと思われる高校時代。難しい思春期を乗り越えられたのは、たくさんの本でした。その中で、最も衝撃を受け、神とは？人間とは？良心とは？と考えさせられたのがこの本です。近年、映画化で話題になった「沈黙」も同じ著者です。 | |
| まんのう町立図書館 【10/27(水)～11/8(月)】 | きまぐれロボット | 星新一 | けんた・うさぎ | 中川 李枝子(作) 山脇 百合子(絵) |
| | 中学時代に星新一さんにハマって多くの作品を繰り返し読みました。結末がわかっているのに、読み終えて一人ニヤニヤしていたのを感じています。この本は、厚さも薄くSFっぽいショートショート作品集で、読みやすく活字が苦手だった私を本好きにしてくれた、星先生の最初に読んだ思い出深い一冊です。 | | 我が子に読み聞かせをしてやりたいと思いながら、寝てしまう日々。ある晩、何気なく家族で寝転んで読んだこの本が大ヒット！けんたうさぎのかわいいいわがままに、兄弟そろって大笑いでした。ぐりとぐらシリーズのお二人による、6つのやさしく楽しいお話。この本と一緒に過ごした時間すべてが思い出です。 | |